

COUPE-HARDTOP-LIFTBACK-1300 (LASRE 4K-II)-1500 (LASRE 3A-II)-1600 DOHC-EFI (2T-GEU)

COROLLA



熱くなってきた。

「地球車」新カラーシリーズ、新しい走りの誕生。
ツインカム&レーザを搭載して、いま、ライトウェイト・スポーツの頂点へ。

1981年、世界の視線がここに集まる。モータリゼーションの新しい時代が、いま始まろうとしている。「新・ライトウェイト・スポーツ」革新のコンセプトのもと生まれた「地球車」新カラーが、新時代のオープニングにふさわしい鮮烈の走りを見せてくれる。多くのクルマ達が虚飾の中に置き忘れてしまった走りの本能が、3つのフォルムとなって80年代の世界の道を駆け巡る。フロントロウ&リヤハイのしたたかなスタイリング、一新した格調なマスクの個性たちは、エキサイトインクなパワーユニットを搭載して、いよいよ熱くなってきた。圧倒的なハイパワーと高度なメカニズムを誇る、トヨタの自信作ツインカム・2T-GEU。新世代エンジン・LASRE(レーザ)3A-II、LASRE(レーザ)3K-II。いずれも先進のハイパフォーマンスで、ライトウェイトな走りを体現している。スポーツイタリヤのSX、走りのLEVIN-S、走明(豪華)をアラスしたLEVIN-APEX。女性仕様車Limeを加えて、いまだと豊富になったパリエーション。時代に適合することなく時代に先駆ける。それが、「新・ライトウェイト・スポーツ」。トヨタの新時代への解答である。



写真上から、リフトバック1600GT(ボデーカラー・エアースロッド)、ハードトップ1600GT(ボデーカラー・シリアスボディ)、クーペ1600レビンアペックス(ボデーカラー・シャドウゾーン)

COUPE

徹したい。

虚飾を捨てて、走りのフォルムを追求した。
俊敏なフットワークを持つ精悍クーペ。

ブラック&グレーのシャドウツートン(“影”)に彩られた。

直線的で迫力あるファストバックスタイル、横長角形2灯ヘッドランプにより精悍さを増したフロントグリル、
ホード感の優れたバケットタイプのスポーツシート(“高級”)、すべてがラジカルな走りを予感させる。
シフトアップのたびに全身をつらぬくスピード感、高速での安定感、走りほろろに酔いしれるエクストリームスポーツ。

走り継いだツインカムの新鋭、レビンSとアベックスが加わった熱いシリーズ。

痛快な走りを感じてみなさん。



COUPE 1600
LEVIN-APEX

1600ccレビンAPEX (1600ccレビンAPEX)

LIFTBACK

拡げたい。

ブレイン・マインドを持ったコミュニケーション・パッケージだ。

自由な空間を所有できるリフトバック。

アクティブなハートは、いつも新しいアレイジーンを揮っている。

大きなバックドアから無類に広がる可能性は、そんなハートをもたらして解さない。

ロングツアラーに選ばれるリヤリクタイニングシート(後部座席)。

ラゲージ・スペースが3通りに使い分けられる分割可倒式リシート(100%倒れる)。

2BOXのユーティリティを手に入れたスポーティな走りには、新鮮なフロンティア・スピリットがある。

自由に気ままに、行動半径を広げてみたい。



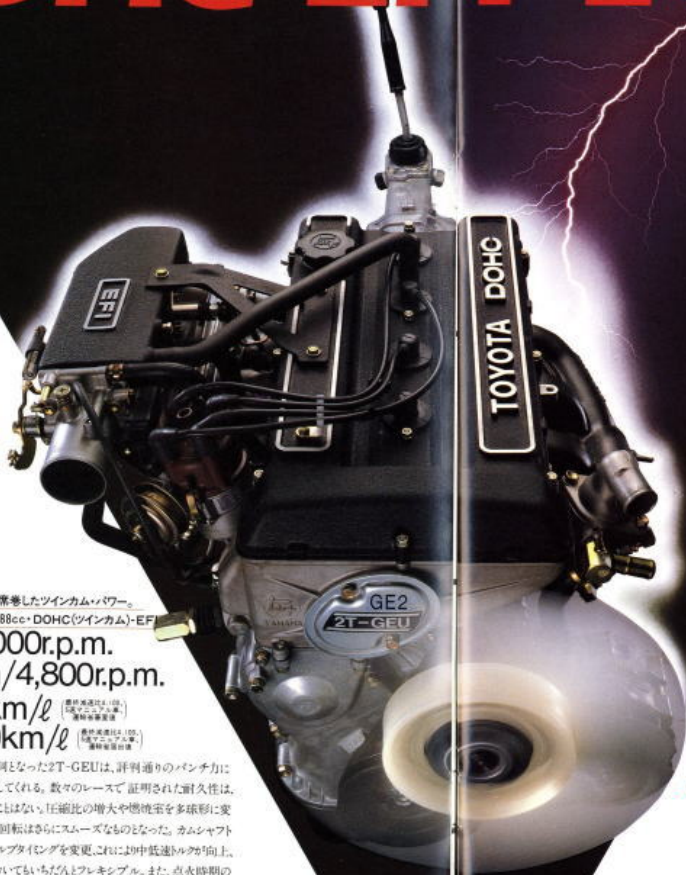
LIFTBACK 1500 SX

1/21-V1091500SX (リフトバック・レイアウトフル)

ツインカム

DOHC-EFI 2T-GEU

超えそうだ。
いま、先進はエンジンで語りたい。
DOHC(ツインカム)-EFI &
LASRE(レーザー)が、
パワーと低燃費を両立させた。



新フォーミュラが主張しているライトウェイトスポーツの走りには、軽量コンパクトで、パワフルなエンジンが必要不可欠だ。1600GT-レビン系に搭載した2T-GEU型エンジンは、トヨタの看板エンジンといえるホットなDOHC(ツインカム)。低速域から高速域までムラなく吹きあがり、圧倒的なパワーを絞り出す足評あるパワーユニットだ。合理的な設計によるひきまわりの軽さと、強力ツインカムとのセッティングは、きわめて鋭いレスポンスを実現している。1300車搭載の4K-IIエンジン、1500車搭載の3A-IIエンジンは、パワー&エコミーという時代の要求に応えた、新開発LASRE(レーザー)エンジンだ。先進の自負をもって名付けられたLASRE(レーザー)とは、Light-weight Advanced Super Response Engineを意味し、トヨタの技術力が創り出した新世代の高性能エンジンシリーズ。トヨタが誇るDOHC(ツインカム)と2つのLASRE(レーザー)、80年代の世界をリードするパワフルトリオだ。

世界のレース・ラリー界を牽引したツインカムパワー。
2T-GEU型エンジン・1588cc・DOHC(ツインカム)-EFI
115ps/6,000r.p.m.
15.0kg-m/4,800r.p.m.
10モード燃費 **12.0km/ℓ** (燃料消費率13.7%)
60km/h定地走行 **21.0km/ℓ** (燃料消費率10.2%)

ホットなエンジンの代名詞となった2T-GEUは、評判通りのパンチ力に加え高い実用性をも発揮してくれる。数々のレースで証明された耐久性は、ロード走行にも活かされることはない。圧縮比の増大や燃焼室を多球形に変えたことにより、高速域での回転はさらにスムーズなものとなった。カムシャフトの形状を変え、バルブタイミングを変更、これにより中低速トルクが向上。低回転域においても十分なトルクを確保。また、点火時期の見直し、およびアイドル進角の採用などにより、燃費もいっそう向上している。排出ガス浄化にはO₂センサーと三元触媒を採用、コンピュータ&EFI(電子制御式燃料噴射装置)の組み合わせと相まって、クリーンな排出ガスと低燃費を実現した。



Japan Formula Pacific Championship Race

地球車
相まって、クリーンな排出ガスと低燃費を実現した。
カローラ
DOHC

エコミー&ハイパフォーマンスを高次元で結合させた。
LASRE(レーザー)4K-IIエンジン・1290cc・OHV
74ps/5,600r.p.m.
10.7kg-m/3,600r.p.m.
10モード燃費 **15.5km/ℓ** (燃料消費率13.7%)
60km/h定地走行 **27.5km/ℓ** (燃料消費率10.2%)

LASRE 4K-II



好評の4K-U型エンジン比の増大や新型プラグの採用などの改良を加えた、高出力・大トルクの高性能LASRE(レーザー)エンジン。三元触媒とO₂センサーの採用、コンピュータのフィードバックコントロールにより、最適な空燃比を実現し燃費をいっただんと向上させた。そのほか、高性能キャブレター、減速時のスロークラッチ、メカトロニクス式点火システムなどの先進技術を駆使し、すべてドライバビリティの向上が図られている。

地球車
1300エンジン並の経済性は、このクラスではトップレベルであり、高速での静かさも格段に向上している。

パワー&エコミーのバランスブルなエンジン。成熟したハイメカニズム。
LASRE(レーザー)3A-IIエンジン・1452cc・OHV

80ps/5,600r.p.m.
11.8kg-m/3,600r.p.m.
10モード燃費 **15.0km/ℓ** (燃料消費率13.7%)
60km/h定地走行 **26.0km/ℓ** (燃料消費率10.2%)

LASRE 3A-II



1500クラスのエンジンとしては、非常にコンパクトなLASRE(レーザー)エンジン。このエンジンの最大ポイント、中低速域での力強さにあり、使いやすかつ最適なドライビングを約束されている。排出ガス浄化には、新たに三元触媒を採用。しかもO₂センサーとコンピュータにより、最適な空燃比を実現している。1300エンジン並の経済性は、このクラスではトップレベルであり、高速での静かさも格段に向上している。

襲ってきた。
 走りか本質から変わった。
 ロードサーファーたちは、ライトウェイトスポーツの世界へ。

限りの価格のインディアンロードを複製する時マシンは野性か明を覚ます。
 豪快なフットワークで空気の壁を切り裂いて走り、あくまでもワイルドだ。
 2T-GEU型エンジンのパワフルなツインカムサウンドと鋭敏なスロットルレスポンスは、
 正統派スポーツカーのインテリジェンスを物語っている。
 ライトウェイトな走りの本質を鮮やかに伝えてくれる。
 伝統の中で鍛えあげられた強靱なサスペンションは、しっかりと安んずることなく、独自の世界を主張。
 オフセットされたフロントスプリングはより安定した走りを生み出し、
 心地よいロードインパクトがドライバーのハートを刺激する。
 スポーツすることを知らずに育ったクルマ座には、感じることもできない大地の揺れが、
 新しい行動圏へと導いてくれる。



ターボ 1600 レビン (ボアーカー) エアーズロックレッド (サンシェード付ムーンルーフはオプション) プロドライバーによるテスト走行風景

譲れない。
 本質から革新してグレードを高めた。
 快適なドライビングを約束する先進の技術。

USEFUL 実用性

合理的なスピリットにあふれた

実質本位のアイデア。

●新カローラDXを除く(全車)フルコンポールボックスを装備。小物入れスペースが充実した。しかも、アッパーコンソールボックスにはコンポステレオやカセットステレオを組み込むことができる。非常に機能的な設計。



●扉と本体が一つになった可動式グローブボックスは奥行きがたっぷり。扉が開いても収納物が落ちにくく、出し入れがスムーズ。



可動式グローブボックス

●いちいちディメンションキーを抜かなくても、運転席側のランチャー操作で開かれる。便利なバックドア(トランク)＆フューエルリッドオープナーの採用を拡大した(※言語認識)。

●後部からもラクラクにドアを開けることができる補助インサイドハンドルを新し(全車)に装備した。常にクオリティを追求し続ける新カローラのユニークなアイデアだ。

補助インサイドハンドル

●助手席シートバックポケット(※認識)や、運転席チケットホルダー(※認識)、トランクサイドボード(※認識)などの収納性もいちだんと向上している。

①リヤシートの片側を開いた場合 ②リヤシート全体を開いた場合

自由に創造できる多彩な

ユーティリティ・スペース。

●多様化するライフスタイルに対応できるように、新カローラは大きなユーティリティ・スペースを確保している。リフトバックだけでなく、クーペも大きなバックドアを持ち、余裕の自由空間を誇る。大型リジャーにもロングラングにも、スペースは充分だ。



①リヤシートをそのまゝ倒した状態。高さも広がりも充分。トランクには十分な大きさな荷物もラクラク積み込み。



②リヤシートの片側を開いた場合。奥の荷役もこれなら大丈夫。荷物もサイズに合わせて、本道どおりでも前向き可能。



③リヤシート全体を開いた場合。フロントスペースもスペースは、高い荷物やビジュージョーの積み込みもたっぷり可能。

●目的に合わせて自在にスペースが増える分割可動式リヤシート(※認識)や、シートバックを倒すと、サーフボードなどもゆゆう積み込みが可能だ。ハードトップのSE-GTには、新たに3ウェイトランクを採用。ハッチバック並のラゲッジ・スペースを手に入れた。



④リヤシートを倒した状態

COMFORTABLE 快適性

ジャストフィットなポジションを

設定できるシート調整機構。

●新カローラのフアブリックシートは、クッション形状の改善によりホールド感も向上。表皮素材もいっただんとグレードアップした。

●運転席は180mmとシートスライド量もたっぷり。加えてさまざまな調整機構により、ドライバーの体格に合った理想的なドライビング・ポジションをセレクトできる。しかも、助手席には、後席の乗り降りに便利な固定復得式オークン機構を採用している。

●レビンス・レビンアベックスに装備した無段階調整式リクライニングシートは、これまで以上に微妙なポジションが可能だ。



ドライビングポジション各種調整

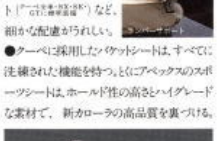
●シート上下アジャスター(※認識)はシート前部の高さが調整でき、腰の前すべりを防止する。腰部を過度に圧迫し、ロングドライブでの腰・背筋の疲れを軽減するランバーサポート(※認識)など、細かな配慮がうれしい。

●クーペに採用したウイットシートは、すべてに洗練された機能を持つ。とくにアベックスのスポーツシートは、ホールド性の高さやグレードな素材で、新カローラの高品質を裏づける。



●シート上下アジャスター(※認識)はシート前部の高さが調整でき、腰の前すべりを防止する。腰部を過度に圧迫し、ロングドライブでの腰・背筋の疲れを軽減するランバーサポート(※認識)など、細かな配慮がうれしい。

●クーペに採用したウイットシートは、すべてに洗練された機能を持つ。とくにアベックスのスポーツシートは、ホールド性の高さやグレードな素材で、新カローラの高品質を裏づける。



●シート調整機構(レスト) ●最適な位置が確保できる前後調整式ヘッドレスト(※認識)は、ショルダー部の圧迫感なく、頭部をしっかり安定させる。

●オールシーズンさわやかなキャンピング演出するエアコン(※認識)は、レバー操作ひとつで、風量、温度などの細かい調節が可能。室内温を常にセレクトした温度に保つオートエアコンも新たに設定した(※認識)。

●吸房、内外気切換え、デフロストなど気温や状況に応じてきめ細かな調節が可能なエアシックスヒーターを、DXを除く全車に標準装備。上半身に涼風、足もとに温風という理想的な調整は自然暖房が可能なバイレベル機構付き。車室内に新鮮な外気を取り入れるベンチレーションシステムは、新たにドア換気孔をプラスして、より快適になった。



①エアボックス(オートエアコンはオプション) フレッシュ・エアが流れる

さわやかな室内空間。

●吸房、内外気切換え、デフロストなど気温や状況に応じてきめ細かな調節が可能なエアシックスヒーターを、DXを除く全車に標準装備。上半身に涼風、足もとに温風という理想的な調整は自然暖房が可能なバイレベル機構付き。車室内に新鮮な外気を取り入れるベンチレーションシステムは、新たにドア換気孔をプラスして、より快適になった。

●オールシーズンさわやかなキャンピング演出するエアコン(※認識)は、レバー操作ひとつで、風量、温度などの細かい調節が可能。室内温を常にセレクトした温度に保つオートエアコンも新たに設定した(※認識)。



SILENCE 静粛性



ハイクオリティが実現した静かな居住空間。

●新カローラはその名に恥じない静粛性を確保するため、エンジン透過音、風切り音などの対策として、さまざまな配慮をしている。

●静粛性の優れたエンジンに加えて、3ジョイントプロベラシャフトを採用(※認識)。高速走行におけるノイズ振動を特に抑えた。

●ボデー構造自体にも防振設計をほどこし、また、カウルおよびダッシュの遮音、フロアの防振材、さらには吸音成形天井の採用などにより、静粛性はいちだんと向上している。

●風切り音対策として、新カローラは段差の少ない面一化ボデー構造。また、ラジオアンテナをファンデーションに取り付けると、高速走行時の空気の流れを充分に配慮した。



SAFETY 安全性

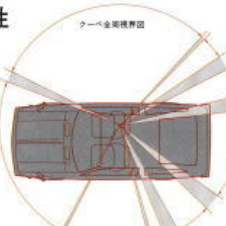
セーフティドライブに直結する

明快でワイドな視界。

●新カローラは広いガラス面積により解放感と広い視界を確保した。周囲がよく見えるため、車線変更やバックなども余裕を持ってできる。もちろん車室内はあくまでも明るく(快適)。

●ウエッジ型ボデーによる低いボンネットラインが、前方視界を良好にした。また、大型ファンデーション、後続車のライトを眩しい時にワンタッチ操作で眩しさを防ぐ防眩インテリナーの採用(※認識)や、運転席側のドアガラスの傾斜角(※認識)など、個々および後方視界も向上している。

●私状面積の拡大したワイパー、ターベとリフトバックのリワイパー(※認識)の採用により、雨天時において視界はきわめて良好。



●明るい白色光で、クリアな前方視界が得られるインコゲン角型ヘッドランプを採用(※認識)。リヤには視認性の高い新設計の大型コンビネーションランプを配した。

●軽い接触もなまりなくショックを吸収し、ボデーもランバーも影響を受けず、衝撃吸収ウレタンセンター(※認識)の採用により、装着時でも自由に身体が動き、ショックを受けた時だけガツリと締まるデモンクランチャー付ELR式フロントシートベルトを全車に採用するなど、数々の配慮で万全のガードシステム。





●革巻ステアリング メーター類の視認性を考慮してデザインされた2本スポークのスポーティな革巻。汗などでもすべることなく、手にしっぴりどじむフィット感がいい。(トヨタ自動車㈱)



●パワーステアリング 低速では軽く、高速になると重くなるハンドリングの手応えが速度の重さに変わるエンジン回転数感应型。車庫入れや狭い場所での駐車などがラク。(トヨタ自動車㈱)



●キー照用兼用半ドア警告灯 ドアを開くと同時にイグニッションキー部を明るく照らし、夜間での始動の際はともも重宝。また、半ドアの場合には、点灯し続けて注意を促す。(トヨタ自動車㈱)



●デジタル式&三針式タコメーター 高精度の水晶発振式を採用。メーター電圧の変化にもほとんど影響されず、正確な時を刻む。気になるときは、針が動くたびに目印が点灯する。(トヨタ自動車㈱)



●ウォーニングランプ エンジンオイル圧、ブレーキの作動、ブレーキオイル残量、ライトの消し忘れ、燃料残量など、クルマの状態を知らせてくれる。安全走行には欠かせない装備。(トヨタ自動車㈱)



●直針式燃料計 イグニッションキーをぬいた状態でも、燃料計の指針が常に燃料残量を示してくれる便利なシステム。燃料補給時期のメドがなくていい親切装備。(トヨタ自動車㈱)



●ミニティファニー サンバイザーの裏面に小さな鏡を装着。女性の化粧直しなどに便利なアクセサリー。また、操作がしやすいサンバイザーは、格納性も向上している。(トヨタ自動車㈱)



●リクライニング ゆったりとくつろげるハードトップの快適なリクライニングシート。その背もたれ部分を前に倒すと、新たなラゲッジスペースが現われる。トランクルームと直結しているため、車室内からトランクに収納した荷物の出し入れができる。また、トランクに入らないカーフォードなどの長い荷物もラクに積みこみが可能。必要に応じて片側、全体と使い分けられる実用本位の設計。(トヨタ自動車㈱)



●サンシェードリムーバー付E.L.R.式フロントシート 装着時でも身体を自由に動かすことができ、衝撃時はもちろん、急制動時などショックを受けたい時にのみ確実にロック。(トヨタ自動車㈱)



●補助インサイドハンドル ドア後部にもインサイドハンドルを設けた新しいアイデア。後部からもラクにドアを開けることができるため、駐車の際に非常に便利な装備。(トヨタ自動車㈱)



●リクライニングシート リヤのシートバック角度が段階に調節できるため、後席の乗員もゆったりできる。ラクな姿勢が保てるので、長距離ドライブでも疲労が少ない。(トヨタ自動車㈱)



●ナビコン マイクロコンピュータが目的地へと正確に誘導してくれる。実用性の高い先進装備。スタート時に目的地までの距離および方向のデータをインプットしておく。目的地の正しい方向、到達度、残り直線距離などのデータを初々ディスプレイ表示する。さらに、残り距離、現在時刻、目的地への到着予想時刻がアウトプット。また、メダルはヒール&ソールのハイテクに選んだ設計。(トヨタ自動車㈱)



●コンステレオ クロック機能、タイマー機能が付いたワンタッチで正確に自動调速できる電子回調式AM/FMマルチラジオ。メタルテープセクターや*ドルビー機構に加え、録音機能も付いた高性能カセットステレオ。これらの機能をコンパクトに一体化したスピーカーの本格的なカーコン。静かな車室内がオーディオルームになる。(トヨタ自動車㈱)



●マッドガード 雨の日や悪路における、ボデーや後続車への泥水や小石のねじりを防止する。スポーティなイメージで足もとを印象づける個性的なデザイン。(トヨタ自動車㈱)



●スチールラジアルタイヤ&スチールホイール 優れたマッチングで、乗り心地と走行安定性を向上させる。アベクサスにも人気のシムンタタイヤを装着する。(トヨタ自動車㈱)



●カーフキャップ&ホイールリム しゃれたセンスで、ホイールをドレスアップする。ボデーカラーともよくマッチし、新カラーの洗練されたスタイルを、ひとひしシャープに印象づける。(トヨタ自動車㈱)



●樹脂ホイールキャップ 美しい放射線状のデザインが、タイヤホイールをファッションアップ。走る樹脂ホイールキャップ。アウトサイドビューにいちだんとグレード感が加わる。(トヨタ自動車㈱)



●オートエアコン 室内温度と外気温をセンサーにより感知し、常にセットした温度に室内を保つ。四季を通じて車室内をいつもやかに演出する快適な空調システム。(トヨタ自動車㈱)



●ハロゲンヘッドランプ 強力な白色光が視界を確保する。配光特性が優れているため、眩惑光が少なく対向車にも迷惑がけない。(トヨタ自動車㈱)



●AM/FMマルチラジオ 雑音の少ないクリアな音質でAMからFMまで、ワンタッチ選局で楽しめるマルチラジオ。美しいサウンドが楽しめる。高感度で音質重視の設計。(トヨタ自動車㈱)



●カセットステレオ 高音質で高性能。*ドルビー機構の付いたメタル対応カセットステレオ。長時間にわたり、臨場感あふれるステレオサウンドを満喫できるオーリーメス機構付き。(トヨタ自動車㈱)

Lime

HARDTOP:1300-1500

キミにもあげたい。ライム誕生。

いま、美しい女性たちも、ライトウェイト・スポーツ。ライムを愛し始めた。
おしなやかなスポーツスタイルのために、カラーがデザインした「ライム」。女性たちの感性が、ライトウェイト・スポーツを認識し始めた。
軽快にドライブできるパワーステアリング、小粋なムードにカラーコーディネートされたインテリア、すべてにライトな感覚がいっぱい。
しなやかなムードに包まれていても、その止りはあくまでスポーティー。オトコ達よ、気をつけたまえ。



ハードトップ(500ライム(ボデーカラー)、エアーズロック付)



ハードトップ1500ライムの計器類



ハードトップ1500ライムのシート

ライムの主な標準装備



パワーステアリング(1500のみ)



ネットステアリング



運転席にのみ付く



前後調整式ヘッドレスト



シート上下アジャスター



フルクランプ取り付けセンズンデューラー

ライムのその他の標準装備

- キャブワッド/スタングホイール
- 衝撃吸収ウレタンバンパー
- 木目シフトレバーノブ(A/T本目)
- 木目パーキングブレーキレバーノブ
- 専用シートライプ
- 専用シート表皮
- 専用ファブリック張りドアパネル
- 専用4ドアカーベット
- 専用17インチ色(チタコック)
- 大型シートバックポケット
- 1300ライムの主要諸元 ●全長4,210mm ●全幅1,620mm ●全高1,330mm ●LASHレールー1.8L 1.エンジン ●最高出力75.9馬力(5000rpm) ●最大トルク19.7kgm(3,000rpm) ●100SR13ステアリングノブ付 ●前輪ディスクブレーキ
- 1500ライムの主要諸元 ●全長4,240mm ●全幅1,670mm ●全高1,320mm ●LASHレールー1.8L 1.エンジン ●最高出力79.9馬力(5000rpm) ●最大トルク21.1kgm(3,000rpm) ●100SR13ステアリングノブ付 ●前輪ディスクブレーキ ●後輪ディスクブレーキ

カローラから広がる新しいライトウェイト・スポーツの世界。

大切なのは、実際にコックピットに身をうずめ、

ハンドルを握ったフィーリング。

お近くのトヨタカローラでぜひお試しください。

お電話、お待ち申し上げます。

